

令和元年 7 月 22 日
広島地方気象台

令和元年 7 月 18 日から 22 日にかけての梅雨前線と
台風第 5 号による大雨について
(広島県の気象速報)

梅雨前線や台風第 5 号からの湿った空気の影響を受けたため、広島県では 7 月 18 日から 22 日にかけて大雨となりました。この時の気象状況を気象速報としてまとめました。

【気象の概要等】

18 日 09 時に西日本に停滞していた梅雨前線は、19 日にかけて山陰沖まで北上しました。この梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、広島県では大気の状態が非常に不安定となったため、18 日は局地的に非常に激しい雨が降りました。また 20 日から 21 日にかけては台風第 5 号が東シナ海から朝鮮半島を北上し、21 日夜には日本海で温帯低気圧に変わりました。暖かく湿った空気が、台風周辺や太平洋高気圧の縁をまわって流れ込んだため、広島県では雨が断続し、21 日から 22 日は各地で激しい雨が降り、21 日には局地的に猛烈な雨が降りました。

この大雨の影響で、床下浸水や河川の増水による道路への冠水、県道の通行止などの被害が発生しました。

なお、詳細は以下の URL からご覧になれます。

<https://www.jma-net.go.jp/hiroshima/index.html>

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです(22 日 12 時現在)。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：広島地方気象台防災管理官室 電話 082-223-3953